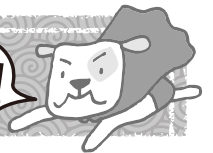


広告

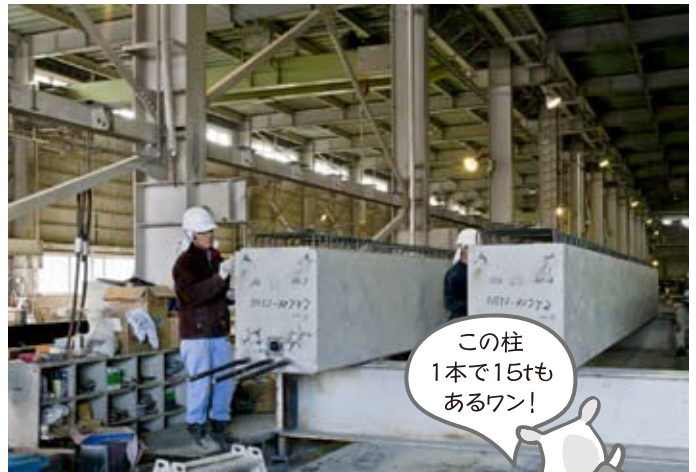
石狩湾新港で企業訪問だワン!



イシカリワン★ブル



▲ホッコングループの一つ、ホッコンJP(株)では、マンションなどの高層建築物の基礎となるコンクリート製のパイル(杭)が製造されています。



▲ホッコングループの一つ、ホッコン建材(株)では建築部材を製造。写真は長さ10mの柱。この柱は、苫小牧港からフェリーで東京に出荷されました。

この柱
1本で15tも
あるワン!



▲マンションの外壁。傷などつかないよう現場では細心の注意を払って製造されていました。



▲マンションのベランダ。壁に差し込めば出来上がり!



▲マンションの床。最終的には梁の上に乗せて、この上からコンクリートを打ちます。



建築部材、樹脂、またマンションなどの高層建築物の基礎となるコンクリート製パイルなど製造する、ホッコングループの共同運営工場。なお、同社は石狩湾新港工業団地において立地した企業第1号です。従業員数35人。

マンションなど高層建築物のパーツを製造。

ホッコングループ石狩工場

新港南1丁目33-2 ☎64-2261



昨年震災後、柱などの建築部材にはより一層の強度——例えば、従来に比べもっと太い鉄筋を使うなど——が求められるようになりました。特に人の生死にかかわる柱と梁については、強度の点など、製造する上で私たちがもっとも神経を使うところです。

私が所属する「ホッコン建材」では平成6年から柱、梁、床、壁といった建物のパーツを造っています。取材に来られた時にはちょうど札幌に建設中の、40階建てマンションの建築部材を製造していました。この建物の場合、1年2カ月ほどかけて各パーツを製造していますが、運んで組み立てれば出来上がりますから、きつと皆さんの目には「大きな建物が突然現れた!」と映るのではないのでしょうか。

ホッコングループが昭和42年に石狩へ来たころは、主に河川などの護岸ブロックを造っていました。おそらく、石狩川の護岸ブロックも造っていると思います。その後、下水管や生コンクリート、樹脂、土木製品などの製造を展開し、現在はパイル(杭)や建築部材などの製造がメインになっています。



ホッコン建材(株)札幌営業事業部第三営業部長 田辺 裕さん